

2025（令和7）年度 石川支部事業実施結果



令和8年7月15日
全国健康保険協会石川支部

1. 基盤的保険者機能の盤石化	… 3
2. 戦略的保険者機能の一層の発揮	… 8
3. 保険者機能の強化を支える組織・運営体制等の整備	… 17

1. 基盤的保険者機能の盤石化（業務グループ）

サービス水準の向上

【KPI】①サービススタンダードの達成状況を100%とする

令和5年度	令和6年度	令和7年度		
100%	100%	100%		全国平均99.99%

【KPI】②サービススタンダードの平均所要日数7日以内を維持する

令和5年度	令和6年度	令和7年度		
5.32日	4.79日	4.77日	10位	全国平均 5.50日

【KPI】③現金給付等の申請書類に係る窓口での受付率を対前年度以下とする

令和5年度	令和6年度	令和7年度		
3.7%	3.8%	4.2%	16位	全国平均 4.0%

1. 基盤的保険者機能の盤石化（業務グループ）

サービス水準の向上

【令和7年度の取り組み結果】

- ・サービススタンダード(10日間)の申請も含め、すべての申請について迅速な業務処理を徹底した。
- ・加入者・事業主の利便性の向上と負担軽減の観点から、郵送による申請と令和8年1月導入の電子申請について使用促進を図った。

主な取組: R7.12 石川県社会保険労務士会や関係企業団体へ広報の協力を要請

: R8.1 石川県社会保険労務士会会員研修会へ講師として参加

- ・受電体制の強化のため、外部講師による電話対応研修を令和7年12月に実施し、相談業務の標準化と接遇品質の向上に努めた。

【令和8年度の主な取り組み】

- ・迅速な業務処理の徹底: サービススタンダード(10日間)の100%達成: 平均所要日数7日以内
郵便受付・開封～前捌き～スキャン作業について最大限の人員を投入し、処理の迅速化に努める。
- ・加入者・事業主の利便性の向上と負担軽減の観点から電子申請を促進
 - 社会保険労務士会など関係機関への働きかけ
 - 電話対応時や来訪者等に対して、電子申請による申請の促進を恒常的に行う。
- ・受電体制の強化

【石川支部電子申請率】

受付月	R8.2	R8.3	R8.4	R8.5
電子申請件数	266	410	487	393
電子申請率	6.4%	7.8%	9.4%	9.4%

コールセンター(令和8年6月導入)からの受電に対応した、レベルの高い知識やノウハウを習得し、スキルの向上を目指す。

1. 基盤的保険者機能の盤石化（業務グループ）

現金給付等の適正化の推進

【KPI】 設定なし

【令和7年度の取り組み結果】

- ・傷病手当金と障害年金等との併給調整を確実に履行した。（令和7年度 調査件数:418件）
- ・不正疑い申請に対する支給の可否を再確認するため、保険給付適正化プロジェクトチーム会議（支部内に設置）を実施した。（令和7年度 プロジェクトチーム会議回数:19回）
- ・事業所への立入検査を令和7年度は2件実施し、傷病手当金にかかる事業主の役員報酬について調査を行った。
- ・柔道整復施術療養費にかかる多部位かつ頻回及び負傷・治癒等を繰り返す申請を抽出のうえ加入者への文書照会を実施した。（令和7年度 文書照会件数:1,700件）
- ・面接確認委員会より柔道整復施術師へ面接確認について通知を令和8年3月に発送し、4月に面接確認を実施した。
- ・あんまマッサージ指圧・はりきゅう施術療養費について、不正が疑われる施術者について地方厚生局へ情報提供を実施した。

【令和8年度の主な取り組み】

- ・日本年金機構との情報連携等を確実に行之、傷病手当金と障害年金等との適切な調整を実施
- ・本部指定の分析に加え、支部独自の抽出条件でTableau（データ可視化ツール）により分析したデータを基に、保険給付適正化プロジェクトチーム会議を毎月開催。あわせて不正の疑いが生じた申請についても、同会議において内容を精査し、必要に応じて事業所への立入検査を実施
- ・あんまマッサージ指圧・はりきゅう施術療養費について、長期かつ頻回な施術の適正化を図るため、加入者及び施術者へ施術の必要性について確認するなど、審査を強化

1. 基盤的保険者機能の盤石化（レセプトグループ）

レセプト点検の精度向上

【KPI】①協会のレセプト点検の査定率(※)について前年度以上とする ※査定率=レセプト点検により査定(減額)した額÷協会の医療費総額

令和5年度	令和6年度	令和7年度		
0.116%	0.136%	0.131%	16位	全国平均 0.128%

【KPI】②協会の再審査レセプト1件当たりの査定額を前年度以上とする

令和5年度	令和6年度	令和7年度		
7,346円	10,068円	9,072円	24位	全国平均 10,017円

【令和7年度の取り組み結果】

- ・高額査定となった事例を毎月精査のうえシステムへ登録し、効果的・効率的な点検に活用した。
- ・社会保険診療報酬支払基金との毎月の会議において、解釈や運用に対する疑義案件について事前に論点整理したうえで協議を行い、疑義の解消に努めた。

【令和8年度の主な取り組み】

- ・行動計画の実践、システムを最大限活用した効果的・効率的な点検の実施
- ・社会保険診療報酬支払基金における審査傾向や査定実績等の共有、点検効果の高いレセプトを重点的に点検
- ・点検員のスキルの向上・内容点検の査定率向上を目的とする研修等の実施

1. 基盤的保険者機能の盤石化（レセプトグループ）

債権管理・回収と返納金債権発生防止の強化

【KPI】返納金債権(診療報酬返還金(不当請求)を除く)の回収率を前年度以上とする

令和5年度	令和6年度	令和7年度		
57.47%	73.36%	76.22%	17位	全国平均 63.70%

【令和7年度の取り組み結果】

- ・無資格受診にかかる返納金について、全件調定および納付書の速やかな送付、早期回収に向けた取り組みを徹底した結果、前年度を上回る回収率(無資格受診返納金 令和7年度回収率61.19%)とすることができた。
- ・傷病手当金と年金との併給調整にかかる返納金について、業務グループと連携し債権調定前に被保険者に対し事前説明を行った結果、高い回収率(無資格受診以外の返納金 令和7年度回収率97.08%)とすることができた。
- ・債権額10万円以上の債務者を対象に対応状況の見える化を行うとともに、弁護士と連携した催告を行ったうえで6名に対し法的手続きを実施した。

【令和8年度の主な取り組み】

- ・新規に発生した債権に対する早期回収に向けた取組の着実な実施
- ・保険者間調整の積極的な活用及び弁護士と連携した催告・法的手続きの実施
- ・オンライン資格確認による無資格受診の発生抑止のため、事業主からの早期届出にかかる周知広報の実施

2. 戦略的保険者機能の一層の発揮（保健グループ）

特定健診受診率・事業者健診データ取得率等の向上

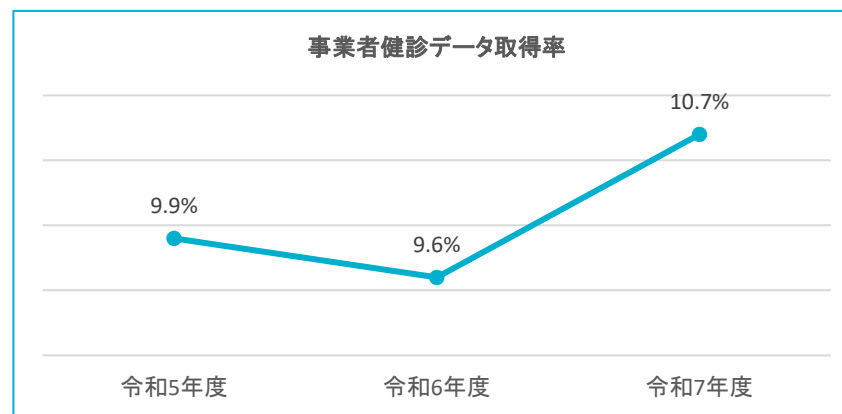
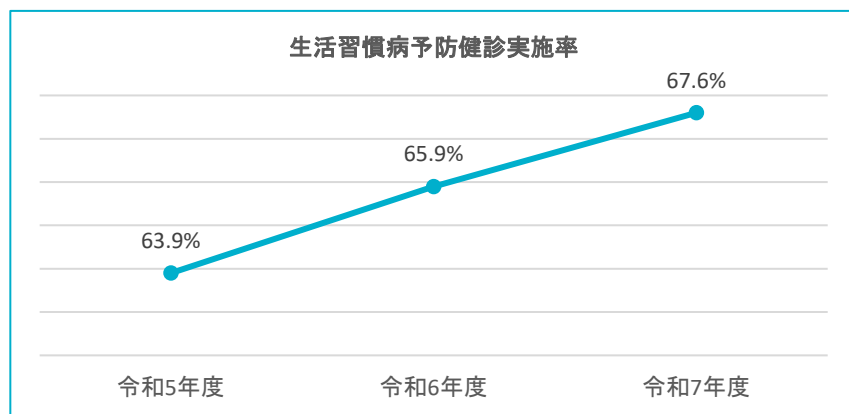
◎ 40歳以上の健診受診対象 被保険者見込者数:184,404人 被扶養者見込者数:37,493人

【KPI】①(被保険者)生活習慣病予防健診 実施率**70.4%以上**とする（実施見込者数 129,820人）

令和5年度	令和6年度	令和7年度		
63.9%	65.9%	67.6%(実施者数 129,053人)	11位	全国平均59.7%

【KPI】②(被保険者)事業者健診データ 取得率**13.2%以上**とする（実施見込者数 24,341人）

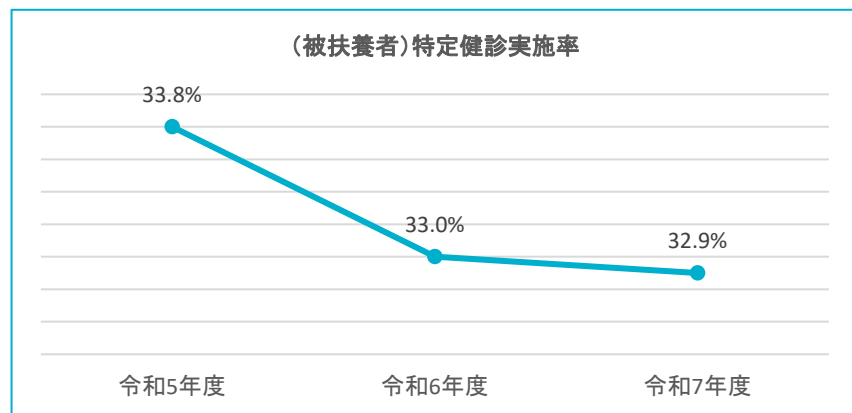
令和5年度	令和6年度	令和7年度		
9.9%	9.6%	10.7%(実施者数 20,362人)	15位	全国平均7.8%



2. 戦略的保険者機能の一層の発揮（保健グループ）

【KPI】③(被扶養者)特定健診 実施率36.2%以上とする(実施見込者数 13,572人)

令和5年度	令和6年度	令和7年度		
33.8%	33.0%	32.9%(実施者数 10,825人)	11位	全国平均29.4%



2. 戦略的保険者機能の一層の発揮（保健グループ）

特定健診受診率・事業者健診データ取得率等の向上

【令和7年度の取り組み結果】

- ・生活習慣病予防健診について、自己負担の軽減や付加健診の対象年齢の拡大等も踏まえた受診勧奨を実施（令和7年度：1,994事業所に勧奨）
- ・被扶養者に対する特定健診について、実施率向上を目指した支部独自集団健診の実施（令和7年度：のべ52会場で実施 3,188名受診）
- ・事業者健診データの取得について、データが確実に協会に提供されるよう、事業主へのデータ取得勧奨を実施（令和7年度：2,000事業所 16,264名分勧奨のうち 580事業所 3,561名分のデータ取得）

【令和8年度の主な取り組み】

- ・生活習慣病予防健診について、若年者への対象拡大や人間ドック健診の創設も踏まえた受診勧奨を推進
- ・被扶養者に対する特定健診について、実施率向上を目指した受診勧奨を実施及び支部独自集団健診の充実
- ・事業者健診データの取得について、事業者健診データが確実に協会に提供されるよう、事業主へのアプローチ強化
- ・2027(令和9)年度実施の被扶養者を対象とした生活習慣病予防健診等の円滑な実施準備

2. 戦略的保険者機能の一層の発揮（保健グループ）

特定保健指導実施率の向上

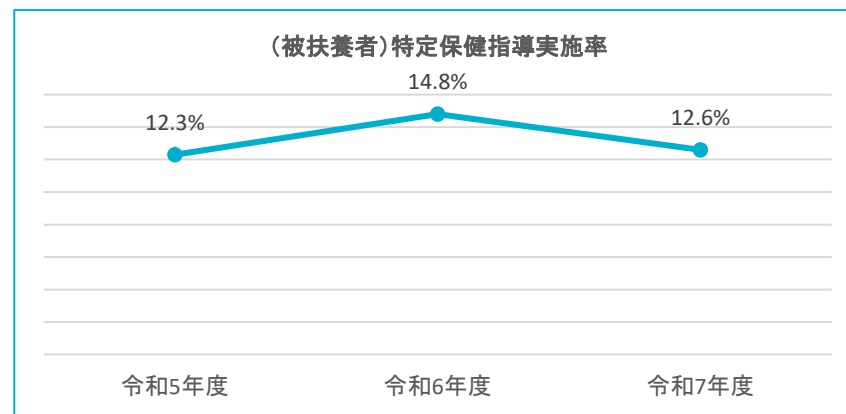
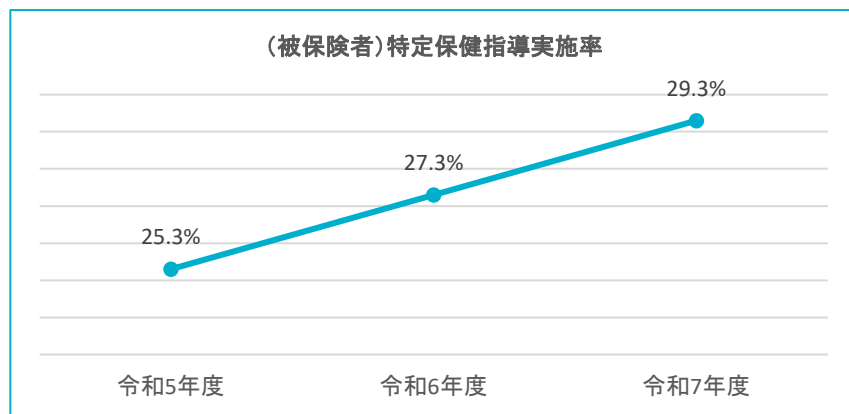
◎ 40歳以上の特定保健指導対象 被保険者見込者数:29,907人 被扶養者見込者数 1,167人

【KPI】①(被保険者)特定保健指導 実施率**32.2%以上**とする（実施見込者数 9,630人）

令和5年度	令和6年度	令和7年度		
25.3%	27.3%	29.3%(実施者数 8,736人)	15位	全国平均21.7%

【KPI】②(被扶養者)特定保健指導 実施率**17.4%以上**とする（実施見込者数 203人）

令和5年度	令和6年度	令和7年度		
12.3%	14.8%	12.6%(実施者数 108人)	38位	全国平均19.9%



2. 戦略的保険者機能の一層の発揮（保健グループ）

【令和7年度の取り組み結果】

- ・ 特定保健指導の利用案内の徹底
- ・ 健診・保健指導を一貫して実施できるよう、健診機関における健診当日初回面談実施の推進（令和7年度：6,648件実施）
- ・ 支部独自集団健診会場における健診当日の特定保健指導を実施（令和7年度：206件実施）

【令和8年度の主な取り組み】

- ・ 特定保健指導の利用案内の徹底
- ・ 健診・保健指導を一貫して実施できるよう、健診機関における健診当日初回面談実施のより一層の推進
- ・ 支部独自集団健診会場における健診当日の特定保健指導を実施拡大
- ・ 人間ドック健診における特定保健指導の着実な実施

2. 戦略的保険者機能の一層の発揮（保健グループ）

重症化予防対策の推進

【KPI】健診受診月から10か月以内に医療機関を受診した者の割合を対前年度以上とする

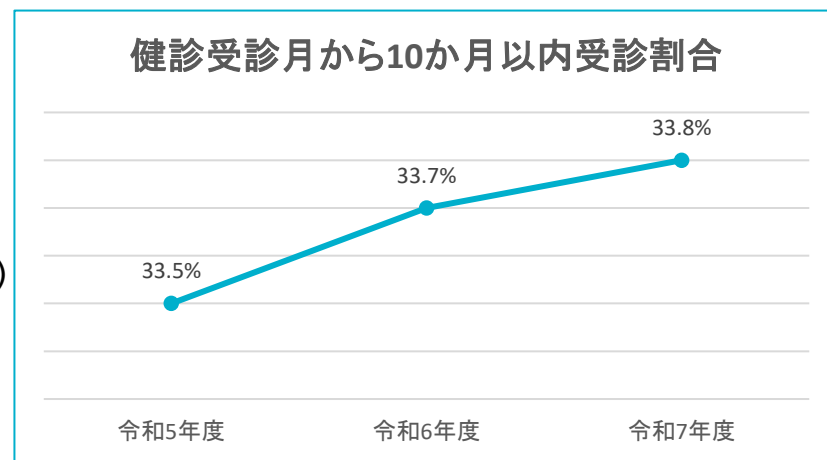
令和5年度	令和6年度	令和7年度		
33.5%	33.7%	33.8%	30位	全国平均 34.7%

【令和7年度の取り組み結果】

- ・ 血圧、血糖、脂質等に着目した未治療者への受診勧奨の実施
(令和7年度：文書勧奨10,343名実施 うち 電話勧奨247名実施)
- ・ 未治療者に対して、特定保健指導等の機会を活用した 早期受診の重要性についての周知徹底

【令和8年度の主な取り組み】

- ・ 血圧、血糖、脂質等に着目した未治療者への受診勧奨の着実な実施
- ・ 健診当日に要治療等と判断された者に対して健診機関にて健診受診後速やかに受診勧奨する仕組みを構築
- ・ 未治療者に対して、特定保健指導等の機会を活用した早期受診の重要性についての周知徹底

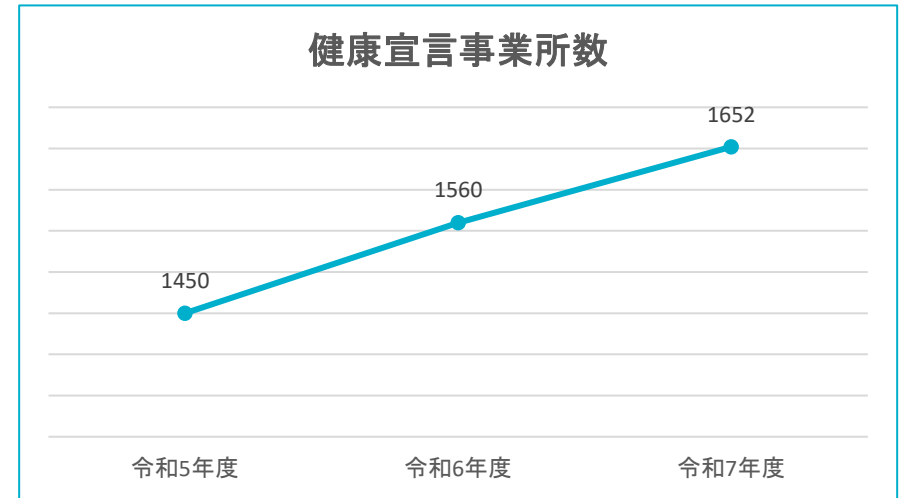


2. 戦略的保険者機能の一層の発揮（保健グループ）

コラボヘルスの推進

【KPI】健康宣言事業所数を1,600事業所以上とする

令和5年度	令和6年度	令和7年度
1,450	1,560	1,652



【令和7年度の取り組み結果】

- ・健康宣言について、健康宣言事業所数の拡大を推進
- ・事業所カルテの活用等による事業主と連携した加入者の健康づくりを推進
- ・メンタルヘルス対策の事業所における取組の底上げを図るため、産業保健総合支援センター等と連携したセミナーや支部独自で実施する出前講座等の実施

【令和8年度の主な取り組み】

- ・健康宣言について、健康宣言事業所数の拡大を推進
- ・事業所カルテの活用等による事業主と連携した加入者の健康づくりを推進
- ・医療費・健診データの分析に基づく健康課題（代謝・運動不足）に着目した実効性のあるポピュレーションアプローチ「健康づくり講座」の実施
- ・メンタルヘルス対策について、産業保健総合支援センター等と連携したセミナー等の実施

2. 戦略的保険者機能の一層の発揮（企画総務グループ）

医療資源の適正使用

【KPI】ジェネリック医薬品使用割合(数量ベース)(※)を年度末時点で対前年度以上とする
(※)医科、DPC、歯科、調剤レセプトを対象とする)

令和5年度末 (R6.3)	令和6年度末 (R7.3)	令和7年度(R7.12)		
83.5%	89.8%	91.1%	20位	全国平均 90.5%

【令和7年度の取り組み結果】

- ・ジェネリック医薬品の使用促進を含む「上手な医療のかかり方」にかかるWEB広告等の広報を実施
- ・新生児が生まれた被保険者に対して、乳幼児医療費助成制度や医療費負担の仕組み、上手な医療のかかり方、ジェネリック医薬品等の内容が掲載された情報誌を送付(2,374名)
- ・バイオシミラー(バイオ後続品)の使用促進向け、県・関係団体及び大規模医療機関を中心に7医療機関を訪問

【令和8年度の主な取り組み】

- ・引き続きWEB広告等の広報や新生児が生まれた被保険者へ情報紙の送付を実施
- ・バイオシミラー(バイオ後続品)の使用促進向け、県・関係団体及び大規模医療機関への訪問を拡大
- ・地域フォーミュラリの策定に向け、県と連携し、関係団体・地域の中核医療機関へのアプローチ

【地域フォーミュラリ】

医師等の地域の関係者の協働により、有効性、安全性に加え経済性の観点から最適と判断された医薬品集及びその使用方針

2. 戦略的保険者機能の一層の発揮（企画総務グループ）

広報活動や「顔の見える地域ネットワーク」を通じた加入者等の理解促進

【KPI】①全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を74.8%以上とする

令和5年度	令和6年度	令和7年度		
74.10%	74.96%	76.08%	3位	全国平均 55.36%

【KPI】②健康保険委員の委嘱事業所数を前年度以上とする

令和5年度	令和6年度	令和7年度
6,827事業所	7,219事業所	7,421事業所

【KPI】③SNS(LINE公式アカウント)を運用し、毎月情報発信を行う

配信月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	2	3	2	3	2	3	3	2	3	3	3	3	32

※登録者数:2,609人(令和8年3月末時点)

2. 戦略的保険者機能の一層の発揮（企画総務グループ）

広報活動や「顔の見える地域ネットワーク」を通じた加入者等の理解促進

【令和7年度の取り組み結果】

- ・健康保険委員が未委嘱の事業所、新規適用事業所への登録勧奨を実施（1,532事業所に勧奨、275事業所新規委嘱）
- ・けんぽ委員通信の発行や年金事務所と合同の研修会等の健康保険委員の活動支援を実施
- ・メールマガジン、LINE公式アカウントの登録勧奨及び、外部有識者等の健康情報を配信
- ・各種メディアを活用した広報を実施

	テーマ	周知内容	主な媒体
①	インセンティブ制度	・制度の概要 ・健康づくりに取り組むことが保険料率引き下げにつながる	・WEB広告、 ・YouTube広告 ・TVCM
②	上手な医療のかかり方	・ジェネリック医薬品の使用等 ・上手な医療のかかり方を実践することが加入者、保険者の負担軽減につながる	・WEB広告、 ・YouTube広告
③	健診体系の充実	・人間ドック健診等の新設 ・健診後の行動（特定保健指導など）が重要であること	・WEB広告、 ・YouTube広告 ・TVCM
④	マイナ保険証	・マイナ保険証の利用促進	・新聞広告
⑤	保険料率改定	・令和8年度保険料率 ・子ども子育て支援金の制度	・新聞広告

協会けんぽ 石川支部

協会けんぽ加入者のみなさん！

健康づくりで 保険料も おトクになる!?

上位15位以内は
インセンティブ獲得！

総合順位
全国5位

令和6年度

フリーアナウンサー
福島 彩乃

速報 インセンティブ制度で
健康保険料が安くなるかも！

インセンティブ制度広報
特設サイト TOPページ

2. 戦略的保険者機能の一層の発揮（企画総務グループ）

広報活動や「顔の見える地域ネットワーク」を通じた加入者等の理解促進

【令和8年度の主な取り組み】

- ・広報については支部広報計画に基づき実施
- ・健康保険委員の委嘱拡大のため、新規適用事業所、未委嘱事業所への勧奨を実施
- ・健康保険委員へのサポートの充実

※参考：令和8年度最重点広報テーマ（協会が最も周知に力を入れる広報テーマ、全支部共通）

①令和9年度保険料率改定（インセンティブ制度の周知を含む）

- ・令和9年度都道府県単位保険料率及び保険料率設定の仕組み、インセンティブ制度等

②健診体系の見直し（現役世代への健診事業の拡充）

- ・令和9年度より実施する被扶養者の健診体系の見直し、令和8年度より開始した人間ドッグへの補助等

③健康保険制度の意義や協会の役割等への共感が広がる環境づくり

- ・協会の事業に協力する関係を構築するため、協会の役割や提供価値を周知

④電子申請・けんぽアプリの利用促進

- ・電子申請の開始やメリット、利用方法等及びけんぽアプリのダウンロード



協会けんぽ 加入者のみなさまへ

電子申請が とってもラクラク～

スマホで簡単に手続き！
窓口にお越しいただく必要はありません。
待ち時間なく、スマホやPCで申請可能です。
添付書類は、**スキャン**でOK！

処理状況の確認がカンタン！
スマホやPCから、申請後の処理状況が
確認できます。

申請にかかる時間やコストを削減！
郵送にかかっていた
手間・時間・費用が削減できます。

1. カンタン！
スマホで簡単に手続き！

ステップ 1 ウェブサイトからアプリをダウンロードして
申請したい申請書を選択

ステップ 2 マイナンバーカードを提示して
顔認証や本人確認の連携機能を利用

ステップ 3 ログインパスワードを入力し、申請書内容
を確認して入力し、電子申請

ステップ 4 申請完了！OK！

スマートフォンまたはパソコンからご利用ください。

QRコード
右の二次元コードを
スマートフォンで読み取って
ご確認ください。

URL
下記にアクセスしてください。
https://www.kyoai-kenpo.or.jp/electronic_application/

協会けんぽ 電子申請

電子申請利用促進ポスター

3. 保険者機能を強化を支える組織・運営体制の整備（企画総務グループ）

費用対効果を踏まえたコスト削減等

【KPI】一般競争入札に占める1者応札案件の割合について15%以下とする

令和5年度	令和6年度	令和7年度
27, 3%	0%	10. 0%

【令和7年度の取り組み結果】

- ・一者応札回避のため、複数の業者が参加可能となるよう、業者への声掛け、十分な公告期間、作業時間の確保、仕様書の見直し等を実施

【令和8年度の主な取り組み】

- ・調達において競争性の向上・多くの業者が参加できる環境整備
- ・全職員のコスト意識向上とペーパーレス化の推進、適正な在庫管理を徹底

令和7年度 石川支部事業計画 KPI

施策項目	KPI設定項目	令和7年度 KPI	令和7年度実績 (前年度実績)	達成	令和8年度 KPI
サービス水準の向上	サービススタンダードの達成状況	100%	100%	○	100%
	サービススタンダードの平均所要日数	7日以内	4.77日	○	7日以内
	現金給付等の申請書類に係る窓口での受付率	対前年度以下	4.2% (3.8%)	×	対前年度以下
レセプト点検の精度向上	協会のレセプト点検の査定率	対前年度以上	0.131% (0.136%)	×	対前年度以上
	協会の再審査レセプト1件当たりの査定額	対前年度以上	9,072円 (10,068円)	×	対前年度以上
債権管理・回収と返納金債権発生防止の強化	返納金債権(診療報酬返還金(不当請求)を除く)の回収率	対前年度以上	76.22% (73.36%)	○	対前年度以上
特定健診実施率・事業者健診データ取得率等の向上	生活習慣病予防健診実施率	70.4%	67.6%	×	71.1%
	事業者健診データ取得率	13.2%	10.7%	×	13.2%
	被扶養者の特定健診実施率	36.2%	32.9%	×	36.5%
特定保健指導の実施率及び質の向上	特定保健指導の実施率(被保険者)	32.2%	29.3%	×	35.4%
	特定保健指導の実施率(被扶養者)	17.4%	12.6%	×	18.5%
重症化予防対策の推進	健診受診月から10か月以内に医療機関を受診した者の割合	対前年度以上	33.8% (33.7%)	○	対前年度以上
コラボヘルスの推進	健康宣言事業所数	1,600	1,652	○	1,710
ジェネリック医薬品の使用促進	ジェネリック医薬品使用割合	対前年度以上	91.1% (89.8%)	○	対前年度以上
広報活動や「顔の見える地域ネットワーク」を通じた加入者等の理解促進	全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合	74.8%	76.08%	○	76.1%
	健康保険委員の委嘱事業所数	対前年度以上	7,421 (7,219)	○	対前年度以上
費用対効果を踏まえたコスト削減等	一般競争入札に占める1者応札案件の割合	15%以下	10.0%	○	15%以下